平成21年度予算 総額65億2，972万円

△４.５％の緊縮財政だが 町民サービスの維持に配慮

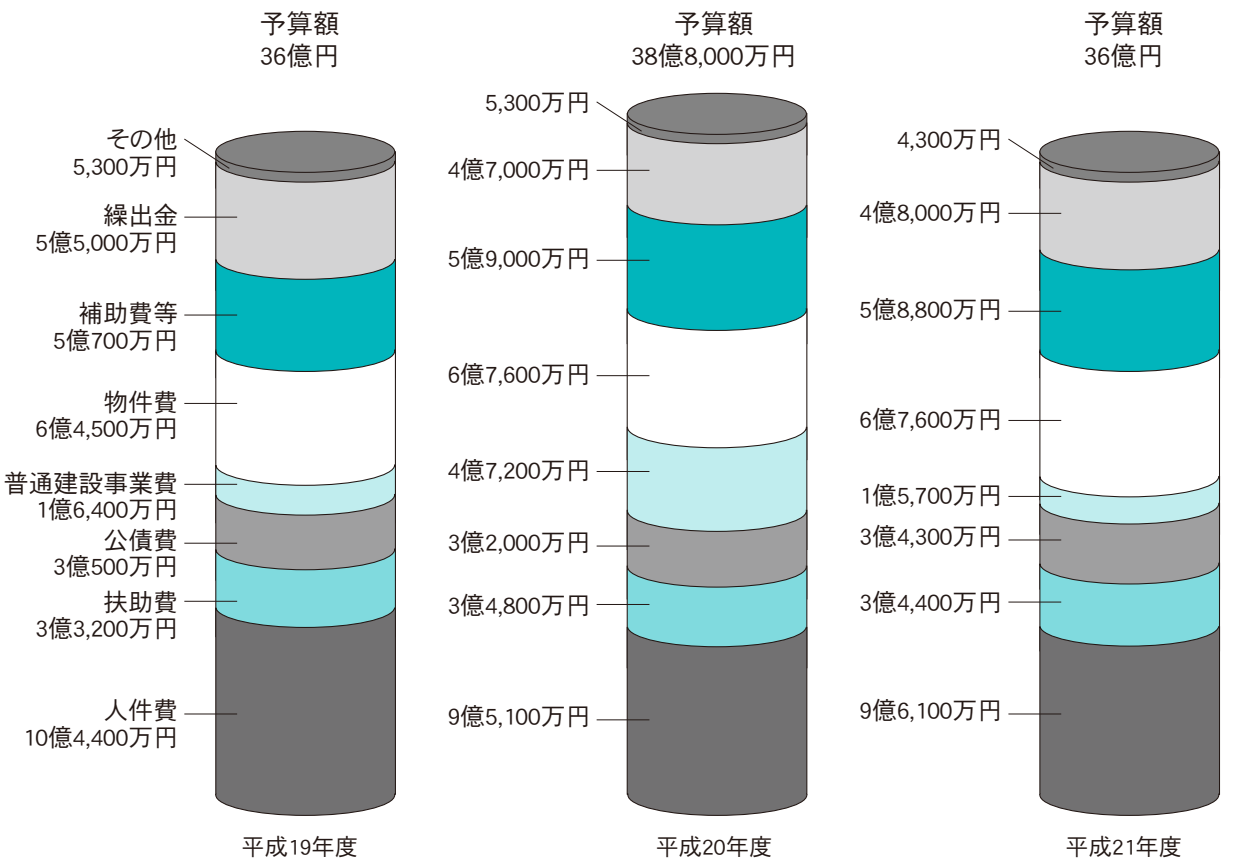
平成21年度の町予算は、一般会計と特別会計などを合わせ、総額65億2、972万円となりました。前年度に比べ、３億９８４万円の減で、△４・５％の緊縮財政でした。世界的に景気が後退し、町もその影響を受けています。町民サービスが低下しないように維持し、自立できる松田町を目指した予算となりました。徹底した行政改革の下、全ての会計で、経費の節約や削減などを行いました。また、一般会計においては厳しい財政状況で健全に運営するため、財政調整基金（町財政の貯金のようなもの）を取り崩さず、予算を編成しました。

平成21年度町予算額

会計区分		予算額	対前年度比
一般会計		36億円	△ 7.2
特別会計		27億5,230万円	△ 1.0
	国民健康保険事業	12億5,873万円	△ 1.5
	国民健康保険診療所事業	9,789万円	2.7
	老人保健	773万円	△ 91.5
	寄簡易水道事業	9,358万円	113.2
	下水道事業	3億9,480万円	△ 3.6
	介護保険事業	7億4,460万円	2.1
	用地取得	2,200万円	205.5
	後期高齢者医療	1億3,297万円	4.3
企業会計	上水道事業	1億7,742万円	0.6
合計		65億2,972万円	△4.5

３年間の性質別支出状況

平成21年度の町予算を性質別にグラフにまとめてみました。これは、右頁のグラフと違い、予算がどのような性質で支出されているかが分かります。今年度は前年度に比べ、普通建設事業費が大きく減少しています。



<用語解説>

- その他…建築物の維持費などの経費です。
- 繰出金…一般会計から他の特別会計へ支出する費用です。
- 補助費等…各種団体への補助金や負担金などです。
- 物件費…町で事務を行うのに必要な経費、公共施設の光熱水費、講師などの報償や、委託料などにかかる費用です。
- 普通建設事業費…道路、橋梁、施設などの建設事業に充てる経費です。
- 公債費…借り入れた町債の返済を行うのにかかる経費です。
- 扶助費…老人福祉法などの法律や、福祉にかかる費用です。
- 人件費…職員の給与などにかかる費用です。

老人保健特別会計
773万円（前年度比　△91・5％）

20年度から後期高齢者医療制度が創設され、老人医療受給対象者はその制度に移行されました。医療費の請求遅延等の処理のため、22年度まで老人保健特別会計が継続されます。

上水道事業会計
1億7,742万円（前年度比　＋0・6％）

「安全でおいしい水の安定供給」のため、老朽化した配水管の布設替工事等を実施します。その他、下水道事業と併せた配水管の整備を行います。

寄簡易水道事業特別会計
9,358万円（前年度比　＋113・2％）

寄地区の簡易水道に要する経費で、給水管整備工事を順次進めるほか、供給水量の安定化を図るため、弥勒寺第２水源電気設備工事を実施します。

下水道事業特別会計
3億9,480万円（前年度比　△3・6％）

生活環境の向上と河川環境の保全に向け昭和55年度より公共下水道事業計画に基づき整備を進めています。平成20年度までの公共下水道の整備率は、見込みで認可区域面積の88・2％、接続率は、87・6％となっています。今年度は上茶屋地区を整備する予定です。

介護保険事業特別会計
7億4,460万円（前年度比　＋2・1％）

適正な介護・予防給付を実施します。高齢者の自立支援を旨に要支援・要介護状態になることの予防（介護予防）を推進し、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化した事業を実施します。

用地取得特別会計
2,200万円（前年度比　＋205・5％）

公共用地を取得するために平成19年度に設立された会計です。今年度は国有畦畔の取得、建物などの物件損失補償が主なものです。

後期高齢者医療特別会計
1億3,297万円（前年度比　＋4・3％）

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障害があると認定された方が対象となります。保険料額の決定や医療の給付などは神奈川県後期高齢者医療広域連合で行いますが、申請や相談などの窓口事務や保険料の収納は町が行います。